

事業所における児童発達支援自己評価表(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI練馬武蔵関（児童発達支援）

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令を順守したスペースは勿論のこと、運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名から2名以上を配置する体制をとっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、トイレには車椅子対応の手すりなどを取り付け、バリアフリー化の配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日掃除を行い清潔にしている。また、湿度計や温度計を設置し適した空間作りを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	当社ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後3年に1回は実施していきたいと考えている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修には日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や活動についての反省点や疑問点をその日のうちに改善、解決している。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。保護者（本人）のニーズは、面談時だけでなく毎回のフィードバック時にも申し出て頂いている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	現在標準化されたアセスメントツールは使用していないが、適応行動の状況は日々のミーティングで確認している。今期中には標準化されたアセスメントシートを用意していきたいと考えている。
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児発管と保護者の話し合いを行い、適切に選択し具体的な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	毎サービス提供時間前後に計画や目標を確認し支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	毎サービス提供時間前後に計画や目標を確認し支援を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	運動は子どもの様子や保護者のニーズを取り入れながら、日ごとにプログラムを変えている。創作は、年間計画に則して子どもの様子を見ながら、必要に応じて変更している。

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成している	小集団クラスと集団クラスを設けており、契約時に適任を見極め各々のクラス設定を行っている。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っている。年度替わりのクラス編成時にも、小集団クラスと集団クラスの見極めを行い、保護者への説明も行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を設け、一日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。記録を必ず残し、休みのスタッフへも情報共有を図っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）にも記入し、検証している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、モニタリングをして計画の見直しの必要性を判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	現在はサービス担当者会議が行われていないため参加していないが、サービス担当者会議がある時は、児発管が参加する予定。将来的には指導員の参加も検討していきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	今後も必要に応じ検討していきたい。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も必要に応じて検討していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	ご依頼があれば、今後も対応していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	適宜、連携を行っており、助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	特に検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、希望に応じ学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないが、日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスを行っている。また面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっている。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児発管が支援計画を作成・説明を行い同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	指導員や児発管が悩みを話せるように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングを行い回答するように心がけている。また、電話で経過を伺うなどして相談に応じている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会や保護者会は行っていないが、通所時に保護者の見学スペースを設けており、そこで保護者同士で情報交換や相談等を行っている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善している。意見箱の設置や専用お問合わせ窓口の設置は今後必要に応じ検討していきたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行していないが、長期休暇に行う特別プログラムの案内や新入社員紹介などは契約者全員に紙面で発信している。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料、個人名の入った書類等は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していきたい。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	耳の聞こえにくい方への伝え方は、指導員が手話研修を受け、他の職員に伝達している。今後療育中にも取り入れていく予定。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特になしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類は存在し、職員には周知しているが、保護者への周知はまだできていないため、今後、周知していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	通所の療育中に、避難訓練を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談時のフェイスシートと面談により確認し手いる、変更があった場合は 随時情報提供していただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては聴取している。事務所内に一覧表を張り出し、「おやつ」ではアレルギー源を含むものは 提供していない。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していきたい
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	管理者兼児発官が東京都主催の虐待防止の研修に参加し講師となり、講習したり虐待防止の資料を基に内部研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	事業所内に拘束を行う方針がないため未対応であるが、担当者が研修に参加しているため、今後必要に応じて検討していきたい

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI練馬武蔵関（児童発達支援）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0	広いスペースでのびのびと運動ができています。	今後もスペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2	0	0	ほぼマンツーマンで一人の先生がついているので安心。たくさん先生の先生と関わるのがよい。	活動中マンツーマンの子供が多い中一人で活動していることが多く思います。とのご意見がありました。そのようなことがないように配慮していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	0	いつもきれいにしている。	今後も清掃業務を徹底していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	1	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	0	0	0	毎回いろいろなプログラムで行っている。	跳び箱だけでなく鉄棒や縄跳びも取り入れていただけると助かります。今後も固定にならないよう取り組んで参ります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	6	3	幼稚園訪問を行ってくださるといいと思います。必要がなりというご意見もありました。	ご依頼がありましたらそのような機会も設けております。ぜひご相談いただければと思います。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0		

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	0	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	5	1	効果のあったやり方を教えていただいている。	ご家庭にあった支援を伝えるよう心がけてまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	0	0	1		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	0	0	先生とじっくりお話しをする時間がない	そのような時間もとれる努力をしていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	7	3	必要ないという意見が多い	必要性がありましたら検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	0	0	2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1	1	5		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	1	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	0	2	3		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	2	6		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1	0	0	先生達が明るく楽しい方ばかりなので本人も楽しいようです。	引き続き継続させていただきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	10	2	0	0	毎回違った内容で子供たちのやりたい運動を楽しくできていて大変満足です。先生達が忙しそうでゆっくりお話しができないので療育中に気軽に相談などできればよいと思う。	引き続き継続させていただきます。また、そのような時間もとれる努力をしていきます。

事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI練馬武蔵関（放課後等デイサービス）

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 集団クラスで子どもが多い時は、サーキットを2つに分けて、運動量が確保できるように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に4名体制となっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、入口にはスロープ、トイレには車いす対応の手摺等を取り付け、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを1月に初めて実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を行っていく。 また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていく予定。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後も今のところ予定はなく、必要に応じ検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修に参加し、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や創作方法についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決している。（これを主な社内研修としている。）
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成したり、ローリングしたりしている。児発管はvineland-Ⅱの研修を行う予定でいる。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今年度中には作成し、運用していく予定。（常にローリングは必要。）
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	運動は週ごとにプログラムを変えている。 創作は年間計画に則って子どもの様子を見ながら、必要に応じ変更している。季節ごとにイベントなどを行う工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、休日は定休日であり、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容で実施している。長期休暇にはイベントを実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を徴収し行っている。

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点洗い出している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）にも記入し、検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	契約後、3か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	-
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現在はサービス担当者会議に参加していませんが、各関係者を日程調整など行っており、今年度中には実施していく予定。 開始当初は、児発管のみ参加する予定であるが、将来的には指導員の参加も検討していきたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わり、保護者から間接的に学校情報をもらうことがる。 最近では施設見学や面談を行い、その結果を鑑み、今後の必要性を検討していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	過去に放課後等デイサービスを卒業した児童はいないが、資料を提供できる体制は整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	近隣で公開しているセミナーなどに参加しており、その中で積極的に情報収集を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	各自治体の方針によって参加の有無が異なっているが、三鷹市は2017年から連絡会が開始され、第1回目に参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	現在は行っていないが、今後ペアレント・トレーニングの外部研修を受講することになっているので、その結果次第で支援を行っていく予定。 （ビデオを見て話し合うなどの方法も検討している。）	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している程度であるが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。保護者アンケートにおいても、当項目は全員が〇と回答して頂いている。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会はないが、当事業所は保護者の見学スペースを設けており、多くの保護者の方が見学されているので、そこで保護者同士をご紹介などはしている。(但し、一部の保護者は希望しない方もいるので慎重に対応したい)
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、今年度中に、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口を設置することを検討していく予定。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	現在口頭でのご連絡となっているため、今年度中に、活動概要や行事予定を教室内に掲示するなどして発信していく予定。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、極力シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していく予定。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	耳の聞こえにくい方への伝え方は、運動道具や紙を使用して配慮しているが、それ以外は特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類はできているが、職員や保護者へ周知はできていないため、今年度中に周知徹底していく予定。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	現在特にしていないため、今年度中に実施していく予定。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となりスタッフに講習している。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内に拘束を行う方針がないため未対応であるが、担当が研修に参加しているため、今後必要に応じ検討していく予定。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約面談時のフェースシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取し、事務所に一覧表を張り出し、当事業所内で食物を口に「おやつ」ではアレルギー源を含むものは提供していない。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していく予定。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。スタッフがいつも見れる場所にヒヤリハットを置いている。

保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI練馬武蔵関（放課後等デイサービス）

	チェック項目	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	もう少し広くてもよいと思う。人数が多い場合、軽い接触などでけがをしそうなときがある。	スペースの確保は今後も十分に配慮していきます。怪我がないように努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	子供が慣れてきた先生が異動されるのは仕方ないですが残念です。	子供たちのことも考え、異動などは社内で十分に話し合いを行い、検討して参ります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1階の設備にスロープ、手すりは見覚えはないですが、バリアフリー等運動スペースは適切と思います。	建築基準に基づき、バリアフリー化の配慮を行っています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	土曜日に集団の長時間のクラスをつくってほしい。	ご希望を踏まえて今後検討していきたい。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	毎週タスクをよくしているように思いますが、子供たちが意見を出し合って決めているので良いと思う。いろいろな運動が毎回上手に組み立てられているので親としては嬉しく思います。	タスク以外にも、ポートボールやバスケットなども全員で楽しめるスポーツは取り入れております。集団スポーツで学べる場でもあり、それに応じて体の使い方なども今後も取り入れて参ります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	放デイでは健常のお子さんとの関わり合いは求めているので、無くても問題ありません。	当面はそのような機会は検討しておりませんが、必要に応じて対応して参ります。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	親の悩みや相談をできる機会がもう少しあればと思います。	面談を申し込んでいただきましたら、スタッフで対応しております。是非ご相談ください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	保護者会は必要ないと思います。交流会や子供を交えてお楽しみ会などはあってもいいかもしれません。	今後の検討課題にさせていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情対応に直面したことがないため	敏速かつ適宜に対応して参ります。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	HPを見ていないのでわかりませ	H P に自己評価を掲載しております。
	14	個人情報に十分注意しているか		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	知りません。	2020年は4月に1週間の避難訓練を行います。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	時には波はあるが本人も行けば楽しいと理解しています。	子ども達が楽しんで通所できるよう、スタッフ全員でつとめて参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	細かい事にもすぐ対応していただき満足しています。プラスになることばかりです。いつもありがとうございます。外で体を思いっきり動かすことをとても楽しみにしているので、フットサルを廃止にしないでほしい。	課外活動の素晴らしさは十分に理解しております。今後は、球技のクラスを設け、課外でも活動できるよう検討しております。今までフットサルをご利用いただきありがとうございました。